

大津市北部廃棄物最終処分場 運営連絡会だより

2025
年度版

■『大津市北部廃棄物最終処分場運営連絡会だより』の発行にあたって

大津市北部廃棄物最終処分場では、北部クリーンセンターから排出される焼却灰や不燃物を埋立てており、昭和60年の開設以来2度の増設を行ってきています。

大津市北部廃棄物最終処分場運営連絡会では、施設周辺の住民代表の皆様に参画いただき、処分場の運営状況や周辺の環境測定結果などを報告し、市民目線での意見を出していただいております。

去る12月19日（金）に今年度の「運営連絡会」を開催しましたので、概要をお知らせします。



令和7年度 運営連絡会構成員（敬称略）

地元代表

辻中 洋一	伊香立学区自治連合会会長	篠原 淳	伊香立学区自治連合会副会長
下尾 忠則	伊香立学区龍華自治会長	西上 清紀	真野学区自治連合会会長
濱本 昌嘉	真野学区自治連合会副会長	吉田 昌弘	真野北学区自治連合会会長
前田 順一	真野北学区自治連合会副会長	徳岡 明治	和邇学区自治連合会会長
大道 環	和邇学区小野自治会長	近藤慶次郎	小野学区自治連合会会長
山本 啓一	小野学区環境整備推進員代表		

市代表

宿谷 繁生	大津市環境部長
-------	---------

環境調査を行い、安全性を確かめています。

運営連絡会 報告概要

処理水及び地下水の水質は毎月、ダイオキシン類は年2回、その他の項目は年4回の調査を実施しています（調査地点は裏面図参照）。なお、分析業者は毎年入札により決定しており、令和6年度及び7年度の分析業者は下記のとおりです。ごみの搬入状況及び環境調査の詳細は、下のQRコードから北部クリーンセンターホームページをご覧ください。

ア) 処理水及び地下水 水質（NECファシリティーズ株式会社）、ダイオキシン類（株式会社日吉）

浸出水処理施設からの処理水及び観測井戸等から採取した地下水について、水質及びダイオキシン類に関する分析をしたところ、いずれも全項目で法定の基準値を下回っていました。

イ) 騒音・振動・悪臭（NECファシリティーズ株式会社）

敷地境界4地点において測定を実施したところ、いずれも法規制値や協定値を下回っていました。

ウ) 土壌（NECファシリティーズ株式会社）

隣接地の土壌を分析したところ、全10項目について環境基準値を下回っていました。

エ) 河川（NECファシリティーズ株式会社）

菅井川の水や川底を分析したところ、全項目で環境基準値を下回っていました。

オ) 焼却灰及び飛灰処理物（NECファシリティーズ株式会社）

ダイオキシン類を分析したところ、いずれも法定の基準値を下回っていました。



当日は北部クリーンセンターの見学会も行いました。



◎ごみピット（写真左側）

ごみピットは、ごみを一旦貯留しクレーンにより混合・攪拌するところで、貯留容量は約7日分です。

◎資源物手選別（写真右側）

資源物手選別は、ごみをコンベアに流して人の手によって異物を取り除き、資源物を回収しています。

運営連絡会議事より

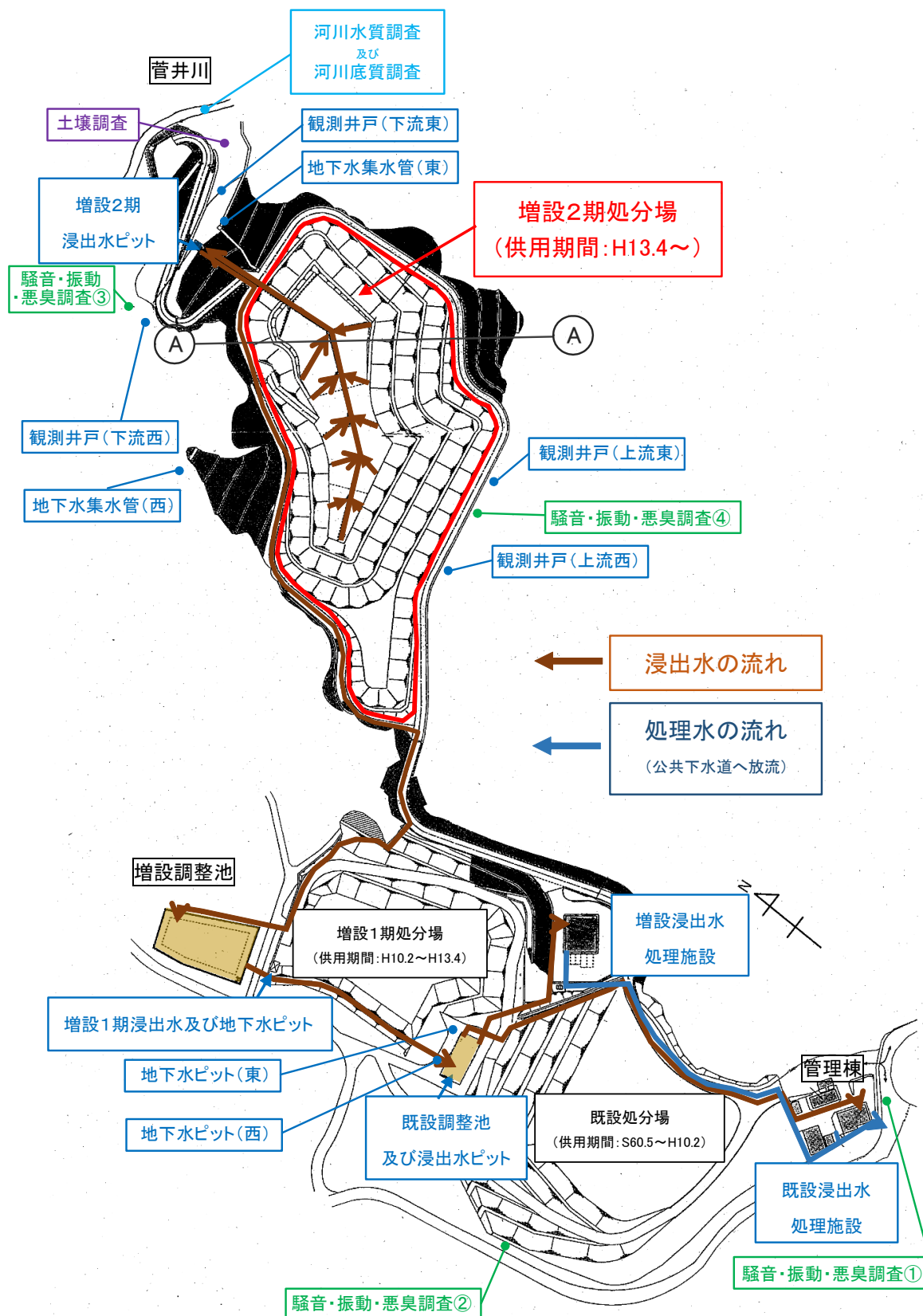
Q：既に埋立がかなり進んでいるようだが、あとどれくらい埋立が出来るのか？

A：当施設は令和7年11月末現在、約89.3%まで埋立が進んでおります。このままの搬入量で推移すると、およそ令和17年度頃で満杯になる見込みではありますが、ごみ量の減少傾向が続く可能性が高く、満杯になる時期はもう少し先になるものと想定しております。

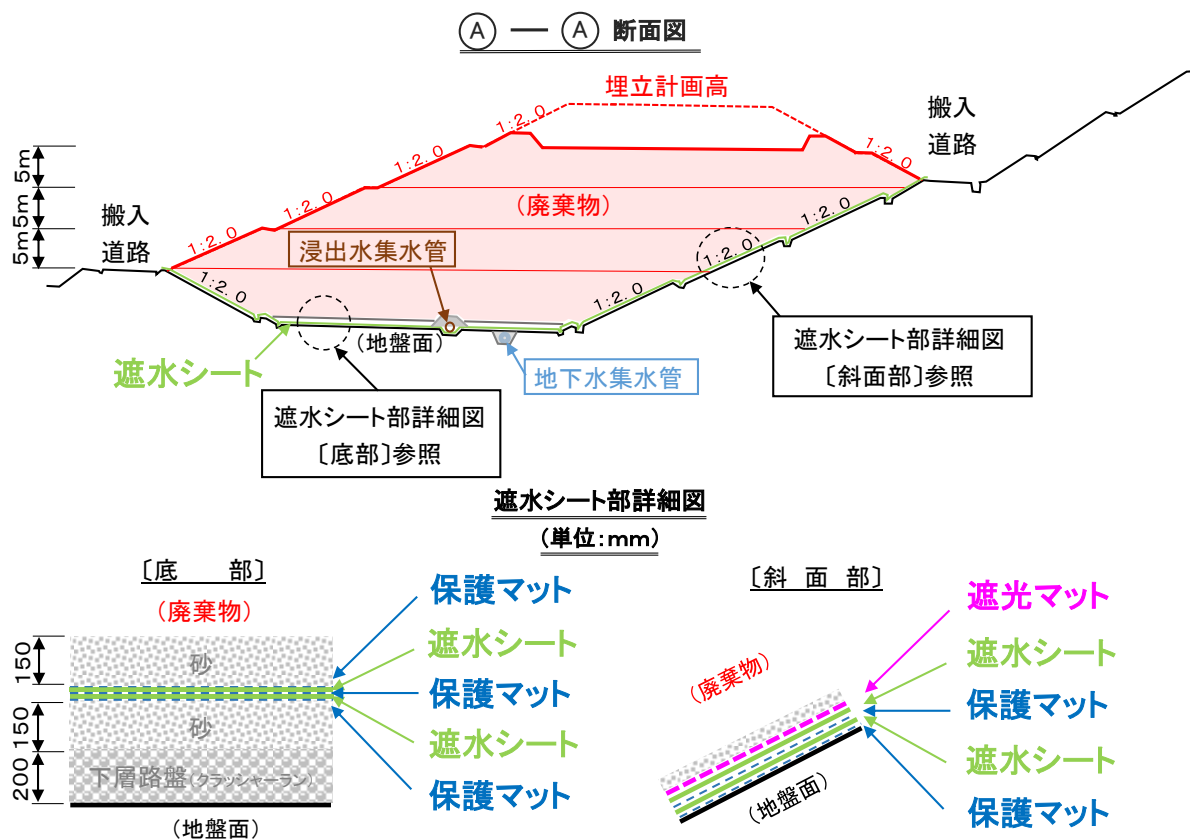
浸出水及び処理水について

- ・処分場内の水の流れは下図に示すとおりとなっています。
- ・浸出水は浸出水ピットに集まった後、ポンプにより浸出水処理施設へ送られます。(図の茶色の矢印)
- ・浸出水処理施設において処理された水は、公共下水道へ放流されます。(図の青色の矢印)

北部廃棄物最終処分場の浸出水の流れ及び調査地点位置図



- ・処分場の構造としては、まず下図のとおり窪地を成形し、そこへ廃棄物を順次埋め立てていきます。埋立の際に底面及び斜面から浸出水が地下へ漏水しないよう、造成時にはシートにより遮水しておきます。
- ・遮水シート部詳細図に記載のとおり、遮水シートを二重に敷き、さらに廃棄物を埋め立てる前に砂などで遮水シートを覆い安全性を高めております。



用語解説

環境基準

- ・環境基本法第16条で人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として、水質や土壌などについて定められています。

ダイオキシン類

- ・他の多くの化学物質とは異なり、製造を目的として生成されたものではなく、炭素、酸素、水素、塩素が熱せられるような行程で意図せずできてしまうもので、廃棄物の焼却過程や金属精錬の燃焼行程、紙などの漂白行程などで発生します。

大阪湾広域臨海環境整備センターの埋立事業

- ・当該埋立事業計画は、近畿管内自治体や港湾関係者等からの出資などによる事業であり、175市町村から排出される廃棄物、建設工事に伴う土砂等を適正に処分し、大阪湾圏域の生活環境の保全と港湾機能の再編・拡充、新たな埋立地を活用した地域の発展に導くものです。詳細は、大阪湾広域臨海環境整備センターホームページ内の「大阪湾フェニックス計画」のページをご覧ください。

「大津市北部廃棄物最終処分場運営連絡会だより」は、北部廃棄物最終処分場及び運営連絡会に関する各種情報を周辺地域にお住いの皆様にご紹介し、市政情報の公開と共有の役割を担っています。是非ご覧いただき、ご意見・ご感想等をお寄せいただければ幸いです。

